

仕様書（工事概要書）

件名	宮城県立がんセンターCVCF・VCB等更新工事		
場所	宮城県名取市愛島塩手宇野田山 47-1, 27-1, 33		
規模・構造	本館・研究棟（地上7階、地下2階）・動物実験棟・保育所 緩和ケア棟（地上2階） 集学治療棟（地上1階、地下2階） 鉄筋コンクリート造		
工期	契約日翌日 ～ 令和4年3月25日	工種	電気設備工事
施設概要 ・用途 病院 ・主な工事箇所 研究棟 B2F 電気室内 ・消防法防火対象物－第6項イ			
工事概要 ・既設撤去－受変電設備 VCB保守系2台，電力貯蔵設備 CVCF 150kVA ・新設－受変電設備 VCB保守系3台，電力貯蔵設備 CVCF 200kVA ・増設改修－年次計画停電の仮設電源を切替え設備 仮設切替盤5面，き電盤 NO.9，開閉器盤 ・上記の改修に伴う幹線設備の配管配線及び試験調整一式			
工事条件と留意点 ・本工事は，電気工事の単独工事である。したがって，専ら建築・空調・衛生工事の範疇である工種が必要となった場合も本工事にて対応するものとする。 ・病院施設のため昼夜を問わず，工事による騒音発生には十分配慮し防音・振動対策を行うこと。 ・全館及びエリアを限定した部分停電であっても，停電作業については停電する前後の準備・復旧手順を含めた「停電作業実施工程」「停電エリア調査報告（着色図）」を作成し発注者等と協議のうえ，病院維持機能と養生範囲を決定するものとする。 ・仮設電源（発電機）の配置について，所轄消防署と協議を行い工事の安全性を確保すること。 ・各種機器の更新後はその機能及び動作試験・各種測定を行い供給電源が正常であることを報告する。 ・更新後に CVCF 回路の実負荷容量を把握するため7日間以上の測定実施と結果をまとめ報告する。 ・既設直流電源装置（非常照明・電源操作用）は，更新対象外であるが養生のうえ既存機能を維持すること。 ・全館停電作業においては，保安系負荷を仮設電源にて供給するとともに，必要に応じて直接仮設電源のコンセントによる供給も検討し対応すること。			
特記事項 ・物品の搬入搬出は，研究棟横を使用すること。 ・作業は土日祝日を含む日中に行うこと。（停電は，夜間を想定している。） ・入札参加する場合は，必ず現地調査を行い，落札後，速やかに現場確認を行い，工程表等の作成に着手すること。 ・発注者と相談しながら，工事を行うこと。 ・新型コロナウイルス感染症対策については，国土交通省作成「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（最新版）」を参考に，最大限の感染予防対策を講じるとともに，がんセンターの担当者の指示を受け作業すること。 ・仕様書に記載がない疑義が生じた場合は，発注者受注者で協議を行うこと。			